

防災士資格取得について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年6月17日）

防災士という資格があるのはご存知でしょうか。日本防災士機構が認定する、社会の中で自助・共助・協同の理念のもと防災力を高めるべき活動するための知識・技能認定する資格です。

近年、日本では地震・津波・火山・異常気象など自然災害が多岐にわたり、多くの命が失われています。京都でも、昨年の豪雨により大学施設の一部が浸水したことは記憶に新しいかと思えます。いわゆる“無縁社会”の広がり、災害に対する地域コミュニティを通じた防災環境が失われ、日本全体として災害への対応力が低下していることも事実です。その中で、このように防災の知識・技能を持った若者が増え、活動することは非常に重要であると考えられます。

しかし、防災士の資格は一部自治体で補助が行われているものの、資格取得に必要な講習・試験には学割を適用しても合わせて4万円弱かかります。これは大学生にとっては手が出しにくい価格です。

そこで一部の大学ではこの防災士を授業として開講して学内で取得できるようにしたり、助成したりする動きがあるようです。名古屋大学や大阪市立大学などが一例として挙げられます。

京都大学も、社会貢献活動の一環として、この防災士資格の助成やサポートなどを行っていただけませんか。難しい話ではあると思いますが、このコロナ禍でもわかったように未知なるリスクに備えられる人材は今最も必要な存在です。前向きにご検討いただけると助かります。

【回答】（回答日：2020年6月24日）

（回答者：学生担当理事・副学長 川添信介）

コロナ禍のなかで防災に関心を持たれてのご要望、敬意を表したいと思います。

京都大学では、宇治キャンパスに防災研究所が設置されているだけでなく、さまざまな学部・研究科・研究所などで防災に関わる教育・研究が行われています。

しかし、現在本学では、防災士資格取得のための科目は開講されておりませんし、全学共通科目を含めて来年度に開講する予定もありません。今後を検討する余地がまったくないというわけではありませんが、研究型大学としての京都大学では、学術研究と直接に関連しない民間の日本防災士機構の資格のために正課授業を開講することは困難です。世の中には無数の資格があり、それぞれ社会にとって有益なものであるとは思われますが、本学の教育課程方針に沿った資格等を、正課授業に取り込んでいます。

また、資格取得のための費用を学生支援として補助するというご要望についても、数ある資格のなかで防災士の資格だけを特別に扱うことはできません。

以上、ご要望には添えませんが、ご理解いただきたいと思えます。その上で、本学の

中で行われている防災に関わる教育・研究にも目を向けていただければと期待しています。